

御礼とご挨拶

お蔭様をもちまして、杉浦地域医療振興賞（以下「杉浦賞」）および杉浦地域医療振興助成（以下「杉浦助成」）は第14回となり、今回も北海道から沖縄までの全国各地から、杉浦賞には54件、杉浦助成には103件の応募をいただきました。応募いただきました皆様に、この場を借りて御礼を申し上げます。

審査委員、選考委員の先生方の厳正な選考の結果、杉浦賞については3件、杉浦助成については研究分野7件、活動分野7件の計14件を選定させていただきました。

残念ながら選に漏れた中には、優れたものも多く、審査・選考いただいた先生方には大変ご苦勞をおかけいたしました。併せて御礼申し上げます。

本報告集では、今回の杉浦賞・杉浦助成対象のご紹介に加え、第13回杉浦助成対象の成果報告も併せて掲載させていただきました。本報告集の内容が、地域医療・福祉のそれぞれの分野に広まり、進歩・発展し、そして、よりよい未来が築かれることを願っております。



公益財団法人 杉浦記念財団
理事長 評議員会長
杉浦 昭子 杉浦 広一

当財団の設立経緯と趣意

私ども夫婦は、1976年12月、医薬品・健康食品・化粧品・日用品の販売および処方せん調剤を目的に掲げる薬局を愛知県西尾市に開設して以来、「地域のかかりつけ薬局」としてスギ薬局を育てて参りました。

幸運にも、皆様の多大なるご支援をいただき、たくさんのお客様・患者様にご利用いただける企業に成長させていただきました。（2025年2月末現在 2186店舗、売上高8780億21百万円）

スギ薬局グループが創業35周年を迎えた2011年9月1日に、それまでのご支援に報いるため、社会貢献という形で少しでもお役に立ちたいとの思いから、杉浦広一・杉浦昭子を設立人として「一般財団法人杉浦地域医療振興財団」を設立いたしました。そして2015年7月1日には公益認定を受け、名称を「公益財団法人杉浦記念財団」に改めました。

これを機に、地域包括ケアシステムの実現に向けて活動する個人・団体を支援する活動を継続することに加え、認知症問題や介護予防の分野でも、幅広く社会のお役に立てる活動を推進して参ることにいたしました。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、一つひとつ実績を積み重ねて参る所存ですので、引き続きご支援のほど、よろしく願い申し上げます。